

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2017年10月

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

昨年10月13日に崩御されたタイのプミポン・アドゥンヤデート前国王（以後、プミポン国王）の国葬が、10月25日～29日に執り行われました。26日に行われた中心的儀式である火葬式には、タイ全土から20万人を超える国民が集まり、地方の主要都市でも献花台が設けられ、多くの国民が献花をして前国王を偲びました。

今回は「国民の父」とタイ国民から深い敬愛を受け、タイの発展に大きく貢献された、プミポン国王についてお伝えします。

【生い立ち～国王即位】

プミポン国王は1927年にアメリカでタイ王室の王子の父と一般人の母の間に生まれ、幼少期をスイスで過ごしました。スイス・ローザンヌ大学に在学中の1946年、兄のマヒドン国王（ラマ8世）の急死に伴い、18歳の若さでチャックリー王朝第9代国王に即位しました。

1950年に行われた戴冠式では「国民の利益と幸福のために正義をもって統治する」と初めて即位宣言をされました。



戴冠式の様子 ※1

【常に国民に寄り添う国王として】

プミポン国王は即位後、精力的に地方視察を繰り返し行い、広く国民の声を聞いてまわられました。その際には泥道や泥濘、雨天の中でも人々の輪の中に積極的に入っていくなど国民に近い立場を取り続け、「開かれた王室」を实践されました。自ら膝をついて国民に話しかけられる姿は、タイ国民にとって崇敬を集める大きな要因となり、タイの人々は敬愛の念をこめて「ポー（父）」と呼ぶようになりました。



農村部を視察される様子 ※2

プミポン国王は、特に農村の振興や貧困対策に力を入れ、「王室プロジェクト」と呼ばれる農業を始めとする地方経済の活性化プログラムを自ら指導する他、土地改革のために王室の所有地を提供したり、農村開発や旱魃対策の人工雨等の各種王室プロジェクトを推進されました。その数は大小合わせて4400以上にのぼるとされています。

1997年、アジア通貨危機がおこり、タイの経済は大きな打撃を受けてIMFの管理下におかれる事態となりました。その時、プミポン国王はタイが進むべき道として「足るを知る経済」を提唱し、『過度に贅沢な生活をせず、無駄に奢侈な生活をせず、不必要な借金をせず』『儉約に励み、貯蓄をし、共同体の中で互いに助け合って生きて行く』ことを国民に説きました。その考えはその後の農業開発の根幹的な思想とされ、広くタイ国民に浸透しました。また、2005年には外務省と王室開発プロジェクト委員会により「代替的な開発：足るを知る経済（Sufficiency Economy）」に関する閣僚級会議が行われ、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの国々から19人の大臣が参加し、その後「足るを知る経済」哲学と農業に関する新理論が、アフガニスタン復興支援指針において持続可能な農業支援の手段として利用されるなど、海外へも広がって支持を集めることとなりました。

【政治との関わり合い】

プミポン国王は平時においては政治的な発言はほとんどされませんでした。国内に対立が生じて深刻な問題に発展した際には、事態の收拾に乗り出すなど仲介の役割を果たされました。



首相とデモ隊の指導者を呼び出し、和解するように説く国王 ※3

中でも1992年の「5月事件（反政府デモに対し軍が武力鎮圧に乗り出し、300人以上の死者が出た事件）」の時には、双方の指導者を呼び寄せ、事態の收拾と国民的和解を呼び掛けるなど自ら仲介の役割を果たされました。この時の双方の指導者が玉座に坐るプミポン国王の前に恭しく跪く両者の姿は世界中にも報じられ、奇しくもプミポン国王の威光を広く知らしめることとなりました。

2000年代に入り、2度にわたるクーデターや反政府デモが度々起きるなど、国内での対立が深刻化する中、特に2010年に発生した大規模な反政府デモが過激化し収束の道が見えない状況に陥った時には、国王による仲裁を希望する声も多く上がりましたが、この時は中立を保つために沈黙を守りました。その裏には「タイを近代的な民主国家にするためには、絶対的な権力である国王が介入することを良しとしない」思いがあったのではないかと思います。

【世界のロイヤルファミリーとの交流】

プミポン国王は世界の王室と広い交友関係を持ち、2006年に行われた即位60周年の記念行事には約30カ国から王族・皇族が招かれ、盛大に祝われました。

中でも日本の皇室との関係は深く、国王と天皇陛下は年齢も近く親しい間柄でした。上記の即位60周年の記念行事に天皇皇后両陛下が出席された際に、招待



プミポン国王の即位60周年記念行事に集まった世界のロイヤルファミリー ※2

された約30か国の中で両陛下だけを即位祝賀行事後の晩餐会に招かれたことは、皇室がタイの王室にとって特別な存在であることを象徴していると思われます。

[写真引用] ※1 在京タイ大使館 WEB より ※2 タイ政府 WEB より ※3 Wikipedia より

ちょこっとコラム

「プミポン国王」という名前は実はタイ国外で使われる略称で、タイ国内で使われることはありません。タイ国内のニュースなどでは通常「プラバート・ソムデット・プラジャオ・ユーフワ」と称され、さらに本名は「プラバート・ソムデット・プラパラミンタラ・マーハー・プミポン・アドウンヤデート・マヒタラーティベート・ラーマーティボディー・チャックリーナルボディン・サヤーミンタラーティラート・ボロムマナートボピット」と称します。とても長いですね！

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2017年10月

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau
担当：辻 三朗 Saburo Tsuji
Address:1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-632-8032
Mobile : +66-(0)-86-358-7298
Mail : tottori@aapth.com

当拠点の運営法人（鳥取県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2014	2015	2016	2017
GDP 成長率	前年比 (%)	0.9	2.8	3.2	3.5 (1~6月)
人口*	千人	67,065	67,293	67,506	67,646 (8月)
労働者の数*	千人	38,963	39,165	37,792	38,786 (9月)
失業率**	%	0.84	0.89	0.99	1.20 (9月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	300	300	300	310 (9月)
チョンブリー		300	300	300	308 (9月)
アユタヤー		300	300	300	308 (9月)
ラヨーン		300	300	300	308 (9月)
賃金：全国製造業の平均	バーツ	12,074	12,305	12,402	12,465(9月)
インフレ率**	前年比 (%)	1.90	▲0.90	0.19	0.60 (9月)
中央銀行政策金利*	%	2.00	1.50	1.50	1.50 (10月)
普通貯金率**	%	0.59	0.56	0.47	0.47 (10月)
ローン金利(MLR) **	%	6.96	6.75	6.47	6.36 (9月)
SET 指数*	1975年：100	1,497.7	1,288.0	1,542.9	1,721.37 (10月)
バーツ/100円**	バーツ	30.77	28.31	32.53	30.51 (10月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.48	34.25	35.3	34.2 (10月)
円/米ドル**	円	105.84	121.0	108.8	112.0 (10月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	884,346	795,905	765,593	112.0 (10月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,662	2,237	1,688	590 (6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	729.4	809.4	861.3	341.3 (6月)

*期末、**平均